



八千浦中学校だより第128号 平成26年8月27発行
御意見・御感想はこちらまで Tel.543-2783 FAX 531-1397

発展充実の2学期を

校長 佐久間 俊明

今日から2学期がスタートしました。天候不順で、記録や記憶に残る夏休みでしたが、皆様はお変わりなくお過ごしでしょうか。当校では、残念ながら3名の病気欠席があり108名でのスタートでしたが、登校してきた生徒が一回り逞しくなったように感じました。生徒一人一人の夏休みの様子を担任から報告してもらうことが楽しみです。

さて、今日の始業式で生徒に3点について話をしました。内容は以下のとおりです。

1. 自分の命は自分で守ること

平成26年8月豪雨により多くの方が被災されました。命を落とされた方も少なくありません。広島との平和交流に3年生の中村さんをはじめ、上越市の各校の代表生徒が交流をもった広島での災害から、「災害はいつ何時起こるか分からない。そのための備えが必要であること。」を話しました。

また、今日の報道にあったように、国の発表では「日本海側で巨大地震が起きた場合の津波の最大規模は11mを超え、早いところでは1分で到達する。」とされました。今までの学習よりも、高さで3m、到達速度で最大19分の差があります。登下校路における高台を再度確認することと、揺れが収まったらすぐに高台に逃げられるように、再度高台を確認するように指導しました。

本日、登下校路での高台を記入したプリントを再度配りましたので御確認ください。

2. 表現力を高めること

今日から、週1回授業や学校運営支援に上越教育大学大学院から河合由加先生、神山留美子先生、小林信之先生の3名から御支援いただきます。始業式の前に紹介をしました。神山先生は、岐阜県の現職中学校教員であることから、生徒に「岐阜県に行ったことのある人」という発問がありました。残念ながら挙手はありませんでした。続いて「岐阜県と書ける人」引き続き挙手なしでした。

私は、そのことを取り上げ「少なくとも2年生3年生は全員岐阜県に行っている。」と指摘しました。昨年宿泊体験学習で白川郷や飛騨高山に行っているのですから知らないことは無いのです。

何度かお伝えしているように当校の生徒は、人前で話すことや自分の考えを相手に伝えることがあまり得意ではありません。授業でのグループ学習や学び合い等様々な手法を行っているのですが、まだ十分に力がついていません。体育祭や合唱コンクールなど様々な行事や授業を通して、表現力をつけてグローバルな社会を生き抜くことの大切さを話しました。また、本年度から取り入れられる高等学校ny入学者選抜の2日目はまさに、表現力を問われる受験となります。

様々な場面で、生徒が自分の考えを最後まできちんと伝えられるように指導支援していきます。御家庭でも、最後まできちんと伝えられるように「辛抱をお願いします。」

3. 思いやり全員で達成すること

2学期の絆登山や様々な行事について、「自分ができればいい、ではなく組織として全員が達成できるようにしよう。」と投げかけました。他人を思いやり相手の気持ちにたって様々な活動を行っていくことが人として生きていく上で最も大切なことです。全員が目標達成するために、互いに認め合い、互いに支えあい困難を克服していくことこそ、最大の社会性の育成につながります。

以上の3点が、2学期の重点目標です。111名の生徒全員が健やかにそして、生き生きと日々を過ごせる八千浦中学校であり続けたいと考えています。

2学期も御支援よろしく申し上げます。

私の主張上越地区大会

取り戻そう、家族の食卓

上越市立八千浦中学校 3年 大島 華穂

私は学校から帰ってくると、急いで夕食を食べます。週に三回、部活の後にバレーボールクラブの練習があるからです。練習場所が私の家からは遠いため、祖母の運転する車の中で、コンビニで買った弁当などを食べることもよくあります。その頃家では、夜七時からのサッカーの練習がある弟が、たった一人で夕食を食べています。弟が夕食を食べ終わると、今度は両親が職場から帰宅します。しかし、二人がほぼ同じ時間に帰ってくることはないので、両親もそれぞれ一人で夕食を食べることになります。母が食べ終えた後は父が夕食を食べます。そして最後に帰宅の遅い祖父が、祖母と一緒に夕食を食べます。祖父母が夕食を食べ終わる頃には、時計の針は九時をまわってしまいます。

私は、本当は家族みんなで同じ時間に食卓を囲み、にぎやかに会話をしたいと思っています。たった一人で車の中で掻き込むようにして食べるコンビニ弁当の味は、母が作ってくれるあたたかい食事には及びません。たった一人、無言で食べる夕食はとても孤独で、寂しさを感じます。

このようなことは私の家庭ばかりでなく、様々な事情から他の家庭でも起こっていることではないでしょうか。皆さんの家では一家団らの食事を取っていますか。家族との会話はありますか。今、日本では核家族化や子どもたちの塾通い、親の共働きなどが増えるなかで、にぎやかな団らの風景が消え、家族と一緒にではなく、たった一人で食べる「孤食」が多くなっているそうです。みなさんはこの現状をどう思いますか？寂しい世の中になってしまったんだと感じることはないでしょうか？

ではどうすれば「孤食」は解決できるのでしょうか。私は、家族みんなが「孤食」を改善する努力を続けることが大切だと思います。私も今までは「一人で食べたっていいじゃないか。」と、思っていました。ですが、一人で食事を取ることは寂しいことで、家族のコミュニケーションもとれなくなることなのです。

そのことに気づいたのは、中学校一年生の夏休みの時でした。たまたま父と母の仕事が早く終わって、久しぶりに家族六人で食卓を囲みました。会話が飛び交いました。いつもは一人しかいない広い食卓が、その時はとても狭く思えました。とても楽しかった食卓を知った私は、「なるべく一人で食べるのはやめよう。」と思いました。そこで、私は家族のコミュニケーションを増やすために次の二つを実践することにしました。

一つ目は父母が食事をしている時には一緒にそばにいて、一日の出来事を話すことです。すると、その様子を見ていた弟もその場に加わってきて、食卓がさらににぎやかになりました。そのおかげで、少しずつ家族の団らんが戻ってきました。

二つ目は週に一度、家族そろって夕食を取る日を設けることです。土曜日は家族みんなが集まれる時間なので、私はこの時間を大切にするように心がけています。せめて、休日だけでも家族みんなで食卓を囲み、食事を作ってくれた母に「美味しい」と感謝を伝えることが大切だと感じたからです。この時間を大切にすることになったことで、毎週土曜日の夕食は、にぎやかに会話が飛び交う楽しい時間になりました。

「家族」といってもそれは「個人の集団」、所詮は一人ひとりの集まりなのです。だからこそ、食事の時はみんなで食べるようにして家族とのコミュニケーションをとることが大切なのです。私は以上の二つを実践して、コミュニケーションの大切さを改めて感じました。食卓を変えていくこと。それは、人との付き合い方を変えていく、とても重要なことだと私は思います。皆さんもぜひ、今夜の食卓を家族みんなで囲んでみませんか？

広島平和記念式典派遣事業参加生徒の感想

「平和を繋ぐ」

上越市立八千浦中学校 中村 瑞帆

1945年8月6日午前8時15分。世界で初めて一つの原子爆弾が広島に投下され、27万人を超える方々が被爆し、尊い命を失いました。それから69年後の今年、私は初めて広島平和記念式典に参加しました。

広島平和記念式典は、なぜこんなにも多くの人の命が奪われなければならなかったのか、戦争を知らない私たちがこれからすべき事、伝える事とは何かを考える機会となりました。今年の式典は、土砂降りの雨の中で行われ、私はまるで犠牲者の涙のようだと思いました。式典には、平和を求めて訪れる人々が大勢いて、その数に圧倒されました。そして、こんなにも多くの人々が、戦争について考え、犠牲者に鎮魂の祈りを捧げている姿を見て、戦争の悲惨さを改めて身にしみて感じました。

私たちはその後、原爆ドームや平和記念資料館を訪れ、その惨状を目で見て、肌で感じました。平和記念資料館には、被害を受けたものが当時のまま残されていました。全身にやけどを負い皮膚が溶けて垂れ下がっている人、背中にガラスの破片が刺さって苦しんでいる人の様子が、写真や模型で展示されていました。一瞬にして何もかもが壊れてしまったということが伝わってきました。当時の様子を目の当たりにし、ぞっとして心が凍りつくような気持ちになりました。戦争とは、本当に長い間人々の心も体も苦しめるものだと感じました。

実際に、被爆された瀬木さんからお話を聞きました。瀬木さんは、辛い気持ちをこらえながら、当時のことを詳しくお話ししてくださいま

した。ご家族も自分自身も被爆してしまい、そばで家族が苦しんでいる姿を思い浮かべ、目に涙を浮かべながら、私たちに懸命に伝えてくださいました。

戦時中の話は、耳をふさぎたくなるようなお話でしたが、戦争を知らない私たちは、きちんと耳を傾け事実を知り、戦争の恐ろしさを次の世代の人たちに語り継いでいかなければならないと感じました。

今でも、原爆の後遺症でたくさんの方が苦しんでいます。これからも、私自身が平和を願い、実際に見て、感じたことを友達や家族、少しでも多くの人たちに伝えていきたいと思います。

今回、このような機会を与えてくださった上越市の広島中学生派遣事業に感謝しています。



夏休み中の大会・コンクール結果

応援ありがとうございました。

県大会

○特設陸上部

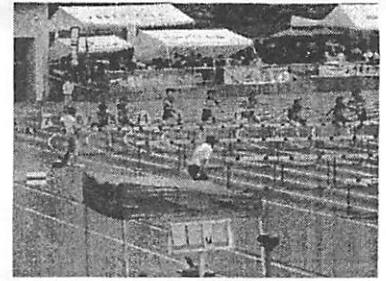
共通男子走高跳 田村空嶺 記録1m70cm 4位

共通女子四種競技 中村瑞帆 28位

○卓球部

シングルス 井上 萌 1回戦敗退

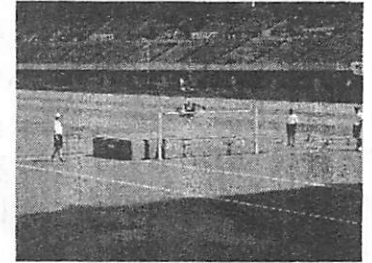
○水泳 佐藤来輝 男子200m個人メドレー 11位 100mバタフライ 13位



北信越大会

○特設陸上部

共通男子走高跳 田村空嶺 記録1m65cm 14位



上越地区吹奏楽コンクール大会

銀賞

私の主張上越地区大会

大島華穂

奨励賞



海まつりが行われました

8月2日(土)に西ヶ窪浜海岸特設会場にて、第5回海まつりが行われました。当日は、晴天にも恵まれ、多くの方々より御参加いただきました。生徒たちも、音楽部の演奏や各委員会ごとのブース活動に参加し、多くの方と接する中で多くのことを学びました。

○お知らせ 8月27日より上越教育大学大学院の河合由加先生、神山留美子先生、小林信之先生の3名の先生方から授業や学校運営でご支援をいただきます。

9月の主な行事予定

9月 1日(月) 新人水泳・陸上大会壮行式	11日(木) クリーン作戦
2日(火) 国語Webテスト	12日(金) スクールカウンセラー来校
3日(水) 上越合同新人水泳大会	16日(火) 中間テスト
4日(木) 数学Webテスト	22日(月) 全校朝会
5日(金) 体育祭りハーサル	新人各種・駅伝大会壮行式
英語Webテスト	25日(木) 上越市駅伝競走大会
6日(土) 体育祭(弁当持参)	26日(金) スクールカウンセラー来校日
スクールカウンセラー来校	歯科検診
7日(日) 体育祭予備日	27日(土) ワークショップ2014秋
8日(月) 振替休日	29日(月) 生徒朝会
10日(水) 上越合同新人陸上大会	